

# ブロッコリー (アブラナ科)

ハイツ、緑嶺、  
シヤスター、シヤレード

## 1 作業体系

月	6	7	8	9	10	11	12	1
作業体系	播種 ○	定植 ◎	追肥・土寄せ -----	収穫 □□□□				
			○	◎	-----	□□□□□□□□□□		

## 2 ここがポイント！

- ・早生種～晩生種まで、品種の特性を把握し、播種適期を守ります。
- ・生育適温は15～20℃です。
- ・花蕾を大きくするため、花蕾が出来はじめる前までに大株を作ることが大切です。

### ① 畑の準備

耕土が深く、排水の良い畑が適し、転作田では30cm以上の高畝にします。

### ② 種まき・育苗

大きな花蕾を作るには、良い苗作りが重要です。

セルトレイまたはポット育苗を基本とします。

育苗期は盛夏なので、播種後本葉が展開するまで寒冷紗などの資材で遮光します。

徒長（ひょろっとした）苗にならないよう注意し、がっちりした苗を作ります。

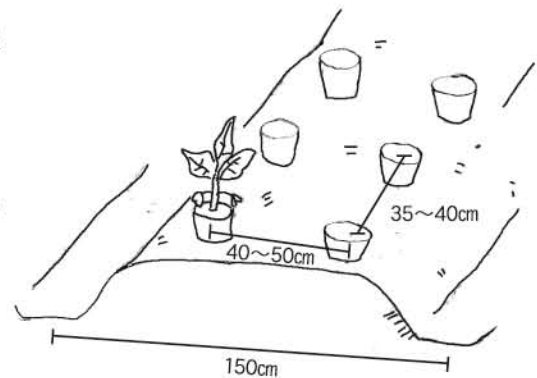
ポットの場合、本葉4～5枚まで、セルトレイの場合、3～4枚まで育苗します。

### ③ 植え付け

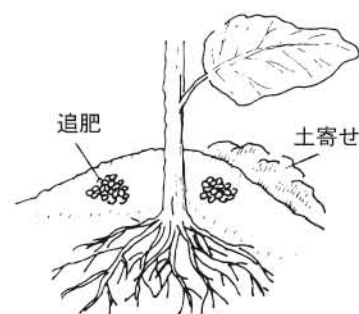
畝幅150cm、条間40～50cm、株間35～40cmで2条に  
植えます。

### ④ 追肥・中耕・土寄せ

草丈の伸びる品種は倒伏を防ぐため、十分土寄せする  
か支柱を立てます。



追肥は2～3回に分けて施用し、花蕾ができるまでは順調に生育させます。同時に土寄せも行います。



### 3 施肥設計

10㎡あたりkg

肥料名（窒素－リン酸－加里）	基 肥	追 肥		備 考
		1回	2回	
土力のおかげ堆肥	20～30			・堆肥は全面に施します。 ・堆肥と同時に施します。
苦土石灰	1.0～1.5			
BM苦土重焼燐（0－35－0）	0.2			・側花蕾用は更に0.5
マルチサポート1号	0.8			
発酵鶏糞（2.4－7.5－4.4）	6.0～8.0			
園芸化成特1号（14－8－13）		0.5	0.5	

※微量元素欠乏が出やすいので微量元素（マルチサポートなど）を施用します。

### 4 収穫

収穫が遅れると品質低下するので適期に収穫します（蕾がふくらんだ時）。  
中生種、晩生種は頂花蕾を収穫後、追肥を行えば、側枝の花蕾も収穫できます。



### 5 病虫害防除

病害には強い方ですが、土壌の過湿や乾燥は発病しやすいので、適湿を保ちます。  
高温に弱いので、高温期の早採り栽培は避けます。  
ヨトウムシ、アオムシ等害虫が好むので、早期防除に努めます。

### 6 豆知識

緑が美しい、緑黄色野菜らしく、カロテンやビタミンC、食物繊維が豊富です。

	(ゆで)
ビタミンA（カロテン）	770 μg
ビタミンC	54 mg
食物繊維総量	3.7 g
五訂 日本食品標準分析表より	(100 gあたり)